

室戸市文化部活動ガイドライン

平成31年3月

室戸市教育委員会

目 次

はじめに … 1

1 基本方針 … 1

2 適切な運営のための体制整備 … 1

（1）文化部活動の方針の策定等

（2）指導・運営に係る体制の構築

3 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取組 … 2

（1）適切な指導の実施

（2）文化部活動用指導手引の普及・活用

4 適切な休養日等の設定 … 2

5 生徒のニーズを踏まえた文化及び科学等の環境整備 … 3

（1）生徒のニーズを踏まえた文化部の設置

（2）地域との連携

6 学校単位で参加する大会等の見直し … 3

はじめに

本ガイドラインは、国が示した「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び県が示した「高知県文化部活動ガイドライン」を受け、中学校段階の文化部活動を主な対象とし、学校の文化部活動改革に向けた具体の取組について示すものである。

各学校においては、本ガイドラインの趣旨を十分理解し、現状の把握から課題解決に向けた取組を進める中で、持続可能な文化部活動の構築を目指すことを期待する。

1 基本方針

文化部活動が、生徒にとって望ましい文化及び科学等の部活動環境を構築するという観点に立ち、最適に実施されることを目指し、以下の点を基本方針とする。

- 生徒が生涯にわたって学び、文化や科学等の活動に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めるとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるように取り組むこと
- 生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組むこと
- 学校が主体的に文化部活動の指導・運営に係る体制を構築すること

2 適切な運営のための体制整備

(1) 文化部活動の方針の策定等

- ア 校長は、本ガイドラインに則り、自校の「文化部活動に係る活動方針」を策定する。
- イ 文化部顧問は、活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出する。
- ウ 校長は、自校の活動方針等を公表する。

(2) 指導・運営に係る体制の構築

- ア 校長は、生徒数や教師配置状況等を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全の確保、教師の長時間勤務の解消等の観点から円滑に文化部活動を実施できるよう、適正な数の文化部を設置する。
- イ 校長は、文化部顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に向けて、教師の他の校務分掌等を勘案して行うなど、適切な校務分掌となるよう留意し、指導・運営に係る体制の構築を図る。
- ウ 校長は、活動計画及び活動実績の確認等により、各文化部の活動内容を把握し、生徒が安全に活動を行い、教師の負担が過度とならないよう、必要に応じて指導・是正を行う。
- エ 校長は、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

3 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

(1) 適切な指導の実施

- ア 校長及び文化部顧問は、文化部活動の実施に当たっては、本ガイドラインに則り、生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- イ 文化部顧問は、生徒のバランスの取れた健全な成長の確保の観点から休養を適切に取ることが必要であること、また、過度の練習が生徒の心身に負担を与え、文化部活動以外の様々な活動に参加する機会を奪うこと等を正しく理解する。
- ウ 文化部顧問は、文化や科学等の生徒の能力向上や、生涯を通じて親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能等の向上やそれぞれの目標を達成できるよう指導に努める。
- エ 文化部顧問は、分野の特性等を踏まえた合理的でかつ効率的・効果的な活動内容を工夫する等、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導に努める。
- オ 文化部顧問は、専門的知見を有する保健体育担当の教師や養護教諭等と連携・協力し、発達の個人差や成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導に努める。

(2) 文化部活動用指導手引の普及・活用

- ア 文化部活動に関わる各分野の関係団体等が今後策定する予定の文化部活動における合理的かつ効率的・効果的な活動のための指導手引の周知・活用を推進する。
- イ 文化部顧問は、指導手引等を活用して、2(1)の方針・計画等に基づく指導を行う。

4 適切な休養日等の設定

日頃の学校等における文化部活動の休養日及び活動時間については、成長期にある生徒が、教育課程内の活動、部活動、学校外の活動、その他の食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、以下を基準とする。

- 学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。休養日については、平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。
- 1日の活動時間は、平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。
- 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、文化部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、一定期間の休養日を設ける。
- 定期試験前後は、一定期間等、学校全体の部活動休養日を設ける。

5 生徒のニーズを踏まえた文化及び科学等の環境整備

(1) 生徒のニーズを踏まえた文化部の設置

- ア 校長は、学校の実態に即した文化部の活動を推進する。
- イ 室戸市の課題である少子化については、生徒の部活動参加の機会が損なわれることがないように、合同部活動等の取組に努める。

(2) 地域との連携

- ア 室戸市教育委員会及び校長は、生徒が文化や科学等の活動に親しむ機会を充実する観点から、学校や地域の実態に応じて、保護者の理解と協力、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った環境整備を進める。
- イ 室戸市教育委員会は、学校管理下ではない社会教育に位置付けられる活動については、各種保険への加入や、学校の負担が増加しないこと等に留意しつつ、生徒の活動場所が確保できるように、学校施設開放事業を推進する。

6 学校単位で参加する大会等の見直し

- ア 学校の文化部が参加する大会等が、生徒や文化部顧問の過度な負担とならないよう努める。
- イ 校長は、生徒の教育上の意義や、生徒や文化部顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等や地域の行事、催し等を精査する。